

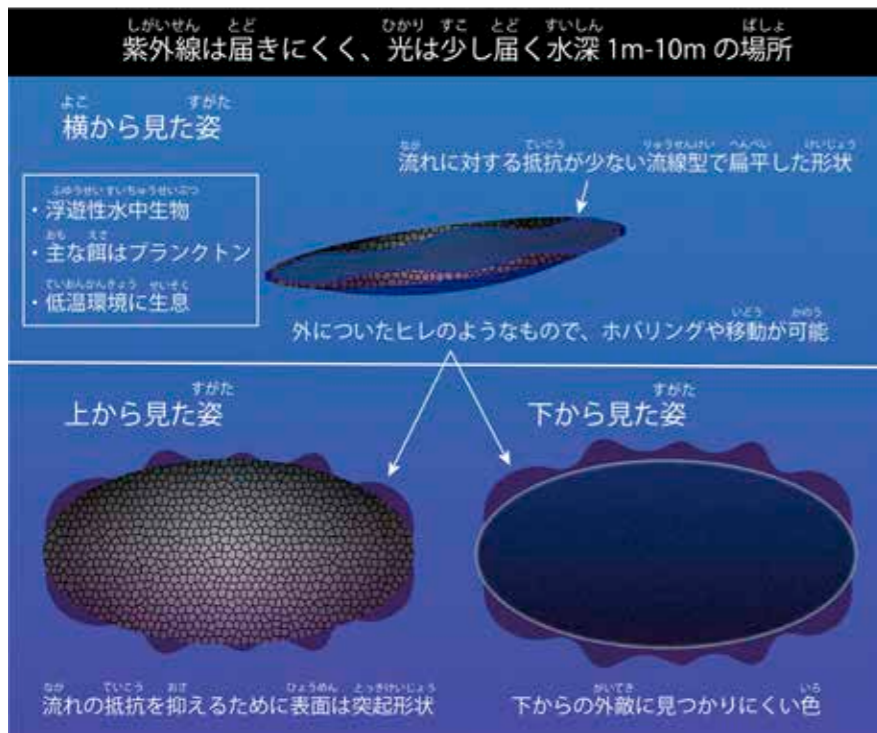
★7月の休館日：4日(月)、11日(月)、12日(火)、19日(火)、25日(月)



プラネタリウム番組のご案内

7月の一般投影 宇宙いきもの図鑑～アストロバイオロジーへの招待～

すべてが海に覆われた惑星



宇宙には、たくさんの星があります。地球以外にも、生命が存在している星はあるのでしょうか？太陽系の土星の衛星エンケラドスや木星の衛星エウロパは、氷で覆われた衛星ですが、氷の下には深い海があると考えられています。2つの衛星の海は、太陽の光もほとんど届かない暗い場所です。しかし、太陽光が届かない地球の水深数千メートルの深海でも、熱水噴出孔の近くに、たくさんの生物が生息しています。エンケラドスの海底でも熱水活動が起こっていると考えられており、同じようなことが起こっているかもしれません。

太陽系の外にも、惑星が数多く見つかっています。例えば、太陽系に最も近い恒星プロキシマケンタウリにも惑星が見つかっており、その1つ、プロキシマbは、地球ほどの大きさで、水が液体で存在できる温度範囲にあると考えられています。ハワイに建設中の超大型望遠鏡TMT(30m望遠鏡)は、こうした系外惑星を調べることも目的としています。地球以外の星の生命の発見に期待が高まります。

宇宙における生命の起源や進化を研究する学問を「アストロバイオロジー」といいます。アストロバイオロジーの研究者の方々に、地球以外の星にいるかもしれない「いきもの」の想像イラストを描いていただきました。今月は、宇宙の「いきもの」について一緒に考えてみましょう。

協力：滝澤 謙二（アストロバイオロジーセンター・基礎生物学研究所 特任准教授）
 堀 安範（アストロバイオロジーセンター・特任助教）

キッズプラネタリウム
 ★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。
 土・日・祝および夏休み(7/21～8/31)
 11:10～/14:30～

こども天文教室
 ★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。
 ☆7/23(土) ☆9:50～
 テーマ：夏休みの自由研究

たなばたアワー

☆～7/7(木) ☆ ※平日の9:50～か11:10～に団体予約がある場合、たなばたアワーの投影があります。

あまのがわのひみつ

☆7/9(土)～8/31(水) ☆

軌道星隊シゴセンジャー (夏場所)

☆7/16(土)～18(月・祝) ☆11:10～ ※事前申込制

8月の一般投影

星を使った航海術

科学装置のなかった昔の人々は、星や太陽を見て航海をしてきました。例えば北極星を見ると、方角や緯度を知ることができます。プラネタリウムで、古くから伝わる星を使った航海術とともに、南半球の星空を見にいきましょう。

特別展のご案内

～7/10(日)

写真展「時計のある風景」

時・時計の歴史が専門である国立科学博物館・佐々木勝浩名誉研究員が撮影した時計のある風景写真を展示します。

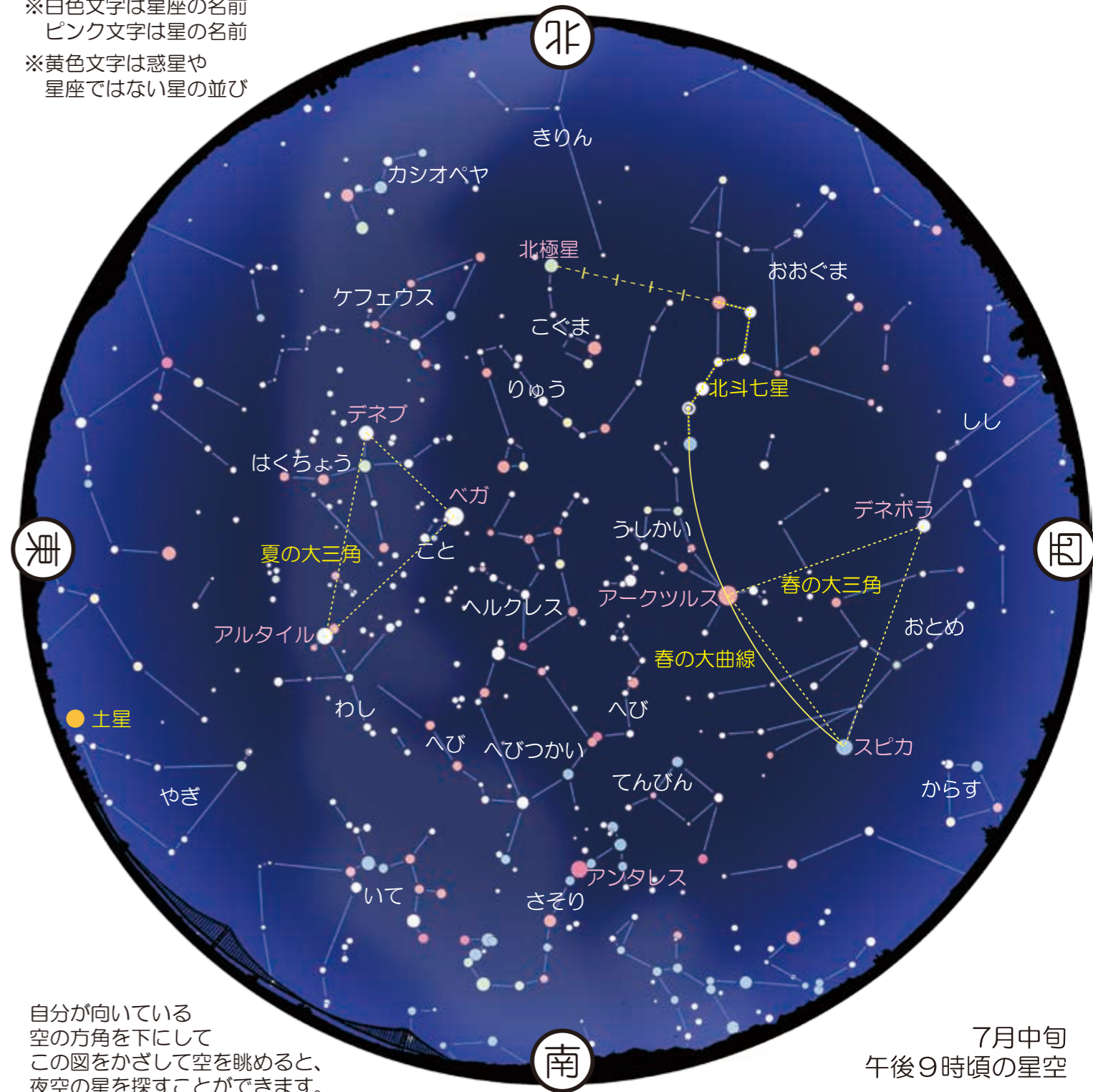
7/16(土)～9/4(日)

星と海 ～太平洋に伝わる航海術～ 展

太平洋の島々には、星をたよりに舟を進める航海技術が伝えられています。人々は、星だけではなく、波のようすや海上に吹く風など、あらゆる自然を感じながら舟を進めました。南半球の星空や、古来の航海技術を人々の文化とともに紹介します。

時と宇宙の博物館
明石市立天文科学館

※白色文字は星座の名前
 ピンク文字は星の名前
 ※黄色文字は惑星や
 星座ではない星の並び



自分が向いている空の方角を下にしてこの図をかざして空を眺めると、夜空の星を探ることができます。

7月中旬
 午後9時頃の星空

7月の天文現象

- 7日 小暑
- 14日 2022年最大の満月
- 15日 月と土星が並ぶ
- 18日 月と木星が並ぶ
- 21日 月と火星が並ぶ
- 23日 大暑
- 27日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 30日 みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大

月の暦

- 7日 上弦
- 14日 望(満月)
- 20日 下弦
- 29日 朔(新月)

日の出・入(明石)

- | 日 | 日の出 | 日の入 |
|-----|------|-------|
| 1日 | 4:50 | 19:17 |
| 15日 | 4:58 | 19:14 |
| 30日 | 5:08 | 19:04 |

8月上旬の天文現象

- 4日 旧暦七夕
- 7日 立秋

東の空高くに、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブの3つの1等星がつくる「夏の大三角」が輝いています。夏の大三角の中で一番明るく見えるベガは七夕の織姫星で、アルタイルが彦星です。街明かりが少なく、星空のきれいなところでは、ベガとアルタイルの間に、白くぼんやりと輝く天の川を見ることができます。

南の空に見える、赤っぽく輝く1等星アンタレスと、近くの星を繋いでできる釣り針のような形をした星の並びがさそり座です。その形から、瀬戸内海のあたりでは“魚釣り星”とか“鯛釣り星”と呼ばれています。

北西の空に、7つの星がひしゃくの形に並んだ北斗七星があり、ひしゃくの形から図のように北極星が見つかります。

夜明け前にかけて、東の空から土星、木星、火星、金星が次々と昇ってきます。惑星は、月と並ぶ日に、月を目印に探すを見つけやすくなります。